

事業報告 1

2003 年度尾形尚子レクチャー報告

小川 佳万

東北大学大学院教育学研究科

中国南京師範大学の胡建華 (Hu Jianhua) 教授による講演「中国における大学改革の動向と大学生の変化」は、2004年1月23日(金)午後1時から4時20分にわたって行われた。講演には学部学生を中心に大学院生、留学生、教官が20人ほど参加し、講演は日本語で行われた。

胡建華教授は、高等教育研究分野で著名な研究者であり、また、教育科学学院院長(学部長)として大学改革や大学生指導にも携わっており、大学改革の理論面だけでなく、実務面にも精通しているという点で、この講演には適任者であったと言える。

講演では、激動する社会を背景に大胆な改革の真只中にある中国高等教育の動向と、そこでの大学生の様子について、中国全体の動向と氏が院長を務める南京師範大学の動向に分けて、わかりやすく講義していただいた。近年、中国の存在感が強まる一方で、その実態については、ほとんど知られていないのが現状であったため、参加者にはかなり有益な内容・情報になったのではないかと推察される。

講演に際して特に氏が気にかけてのは、背景となる知識を持ち合わせていない学部学生にいかに関心をもってもらおうかという点であった。学部生のなかには、アジア諸国や中国教育に関心をもつものが少なくないが、国が異なり、教育制度が異なると、講演者の話す内容を理解することがかなり困難になることが一般的であるからである。

この点を克服する第一の対策は、本題に入る前に、南京市や学校の様子について、画像を用いて説明を行ったことである。第二に、簡潔な講演を心がけるためパワーポイントを使用し、学部学生の理解を助けたことである。なお、視覚に訴える方法は、外国の教育を説明する際にはかなり有効な方法であることがわかった。三点目は、講演の途中で随時、氏の許可を得て小川が補足的な説明を行ったことである。研究者には当たり前の用語であっても、説明の必要な用語が多々ある。この点を補足することによって学生の理解を助けた。四点目は、一般に、講演後にまとめて行っている質疑応答を随時行うことにした。スライドを使用している場合、疑問が生じたときに質問してもらうのが最も理解を助けると判断したからである。

以下、胡教授の講演内容を報告するため、実際に講演時に使用された原稿(パワーポイント)を掲載する。枚数の関係上画像(写真)の部分をかなり割愛したことをお断りしておく。